

地域連携ネットワーク 構築のための工夫

1

前科目では

- ネットワークと組織連携を考えるヒント
- 自分を主語にしたネットワークを可視化し、
- ネットワークが機能するための仕掛けを考え、
- 連携するための目標の明確化とメソッドについて学びました

2

今科目では

- 各々の**現場で役立てる**ための**工夫**として、
- **地域連携ネットワークの構築**の考え方と**手法**を学びます

※チーム作りの一環としての「会議」に焦点を

3

いきなりですが個人ワーク（5分）

- ご自身の経験から（仕事、部活、学校、趣味等）
- チームで話し合う場での「うまくいくとき」「いかないとき」のキーワードをだしてください

「うまくいくとき」	「いかないとき」
1	1
2	2
3	3

4

ここからは グループワーク (全部で30分)

- お題は二つあります
- 前半15分 グループでシェアしましょう
- 後半15分 グループで考えましょう

楽しいグループワークのお約束ごと

- グループに分かれたらビデオと音声はできるだけオンにしましょう
- 「こんにちは」と言動で示してください
- リアクションは3割増でお願いします

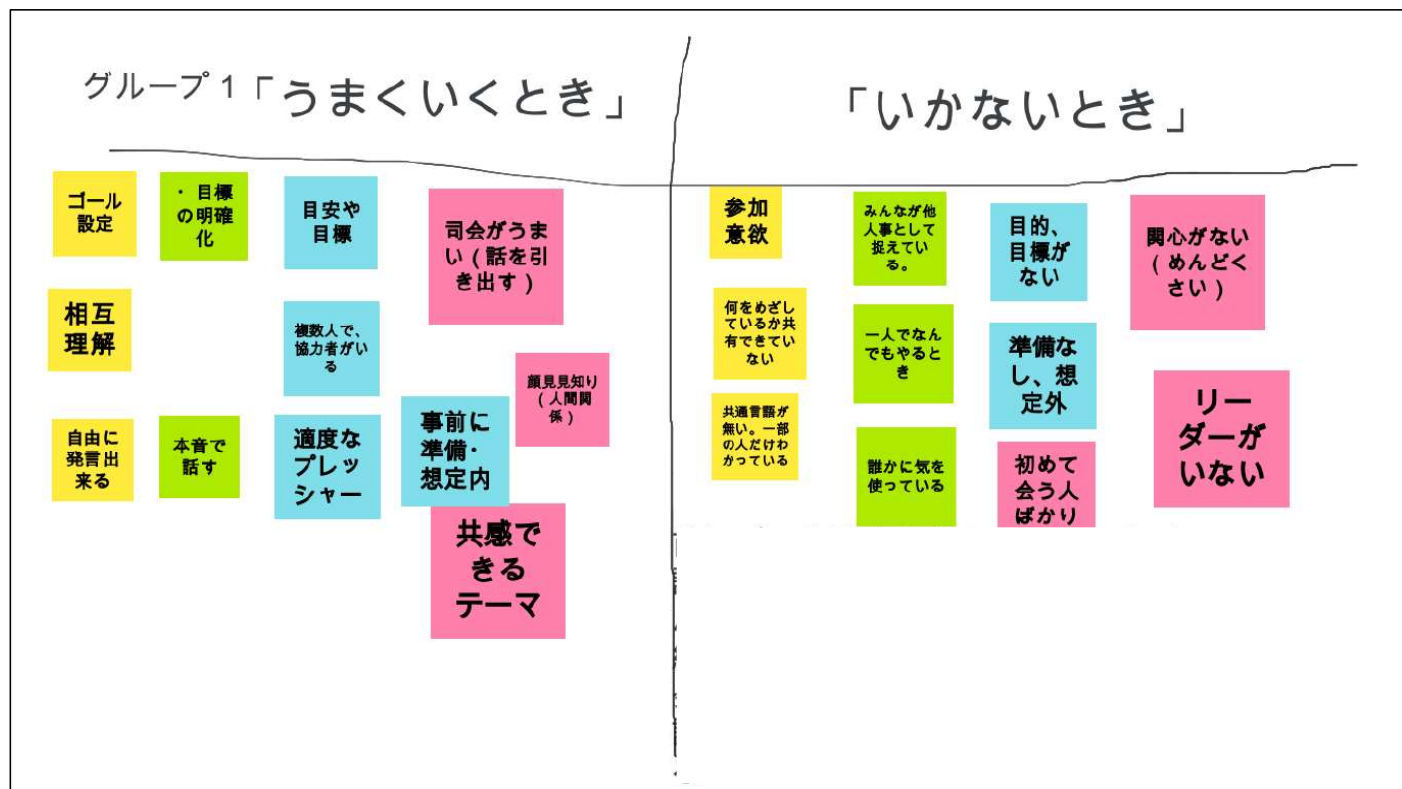
5

グループでシェアしましょう (前半15分)

- まずひとりが、チームで話し合う場での「うまくいくとき」「いかないとき」のキーワードを発表します
『私のKWは〇〇です。理由は〇〇です』
- 一人目の発表が終わったら、次の人から順に、一言感想をお返ししてください（ぽかぽか言葉で）
- 最初にお話いただくのは、番号が小さい人です
- 気軽に全員参加で楽しんでください♪
- せっかくなので、パソコンの得意めな人が記録係をしてください。ワードやパワーポイント・エクセル等、好きなソフトでOK。めんどうだし、口頭でいこうでもOK。

6

去年のグループの話し合い例



7

グループで考えましょう (後半15分)

- みんなでシェアしたKWについて、
- 「うまいくとき」と「いかないとき」の違いを考えてみましょう
- そのうえで、「いかないとき」を「うまいくとき」に変換するために考えられる工夫やアイデアを出し合います
- お互いの経験から、こういう物事があるとうまいくようになるよとか、こういうのがあったらいいなとか自由に発想してください

8

去年のグループの話し合い例

グループ1「うまくいくとき」



「いかないとき」



事前にゴール設定をきちんとしておく
 会議の前にちょっとした雑談必要
 どんな会議なのか、到達点を事前に知っておきたい
 一緒にご飯食べるのも大切 交流を深める機会
 司会進行者が進める力をつけておく
 会議終了後の決定事項を確認する⇒共有⇒次につながる

全体共有

- グループで、どんなアイデアがでたのかみてみましょう
- ツールを使って意見をみえる化、「人」を離れて外在化させています

よい話し合いの場（**会議**）は、
よいネットワーク（**チーム**）
を作りだす

会議の仕方のコツに地域連携ネット
ワーク構築の工夫がある

11

チームアプローチの「要」としての会議

会議をすることで、以下が可能となる

- 多様な視点の確保
- 目標や方針決定の**プロセスの共有**
- 協働で実施する作業の分担と統合
 - ・・・ **協働への意欲、態度**を引き出す

よい会議は、「チームをつくる場」「お互いがお互いを知る場」にもなる

ファシリテーションのノウハウを使うこと、
「会議」を行うことで、
チームの力をより促進することができる

12

ファシリテーションとは何か

ファシリテーション (Facilitation)

英語辞典では「容易にすること」

ラテン語の接頭辞“facil”は英語の“easy”を意味

「〇〇しやすくすること」

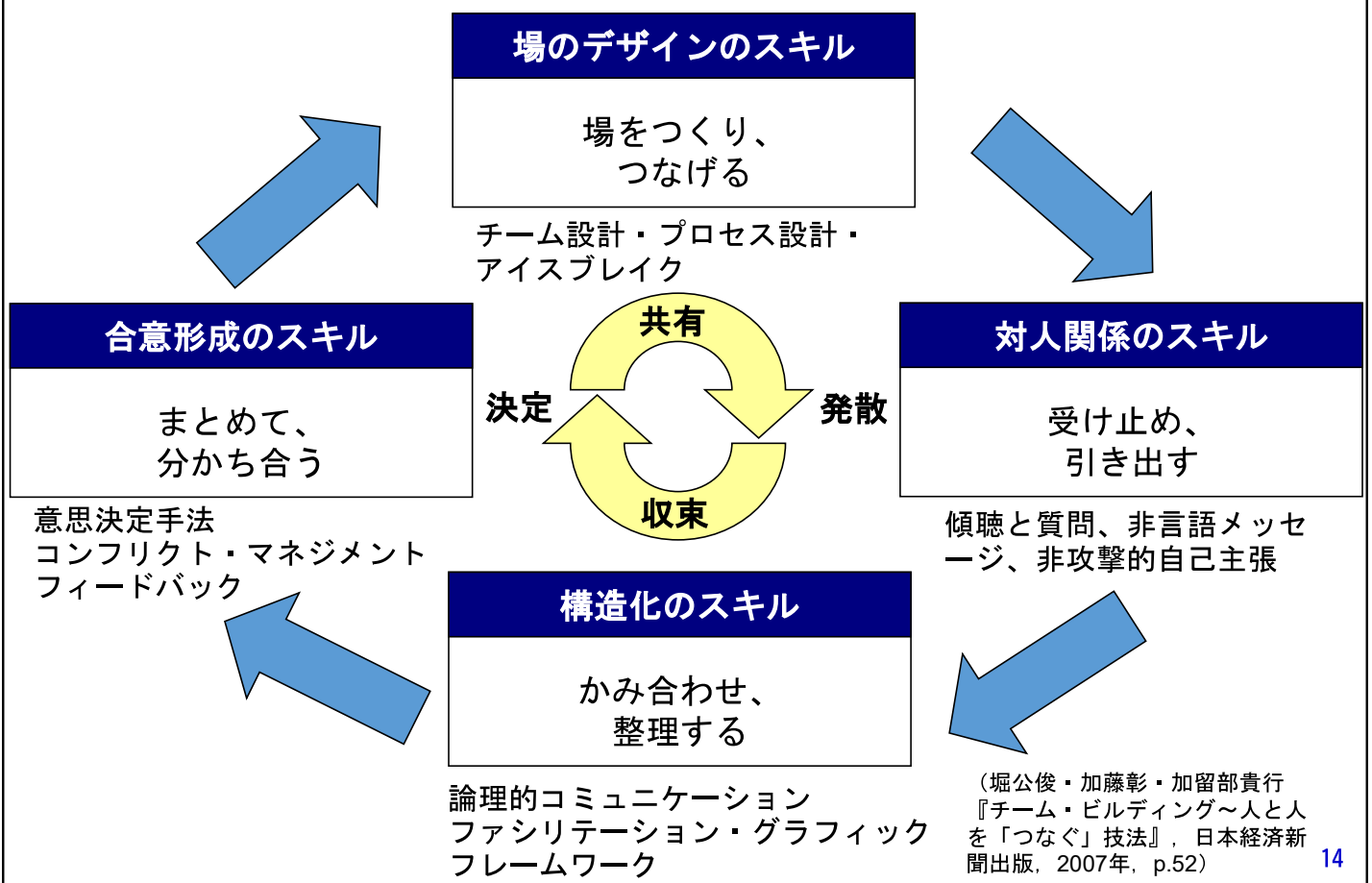
話しやすくする、見えやすくする、わかりやすくする、参加しやすくする、共有しやすくする...

「〇〇しにくい」状態を、「〇〇しやすい」状態に変えていくことがファシリテーションです

「参加したくなる会議のつくり方 公務員のためのファシリテーション入門」 株式会社ぎょうせい 加留部貴行著 R3.4.20

13

問題解決型ファシリテーションの4つのスキル



14

「話し合い」にはステージがある

相互理解（傾聴）



15

地域連携ネットワーク構築の工夫

よい「チーム」を作るためのよい「話し合い」
を、各々の現場で、段階を踏んで重ねていくこと



ハーモニーよりポリフォニー（多声性）

自分らしく話す・聴く社会を目指して

究極のファシリテーションとは、生きやすくなること

「参加したくなる会議のつくり方 公務員のためのファシリテーション入門」 株式会社ぎょうせい 加留部貴行著 R3.4.20
「描いて場をつくるグラフィック・レコーディング 2人から100人までの対話実践 株式会社学術出版社 2021.7.10
「まんが やってみたいくなるオープンダイアログ」 株式会社医学書院 斎藤環解説 2021.3.15

16